

## 令和6年度学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	特 23		学校名	県立境特別支援学校								学校長名	塩畑 道代					
副校長名	舘 淳一朗				教頭名	荒井 幸枝		野口 久人		事務(室)長名	飯田 一行							
教職員数	教 諭	100	養 護 教 諭	3	栄 養 教 諭	1	常 勤 講 師	32	非 常 勤 師	7	実 習 助 手	2	事務職員	3	技 術 職 員 等	12	計	165
幼児・ 児童・ 生徒数	部	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計		合計 クラス数		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
	小学部	24	7	18	11	14	9	20	8	15	10	17	7	108	52	38		
	中学部	17	7	16	9	14	10							47	26	15		
	高等部	24	15	26	4	19	13							69	32	19		
													計	224	110			

## 2 目指す学校像

- ◆一人一人が自ら行い自ら学び、できる喜びを感じることができる学校 「かがやく学校」
- ◆学んだことを周りの人に伝え合い、分かち合うことができる学校 「ひびきあう学校」
- ◆学校と地域が助け合い、認め合い、多くの人と繋がり合える学校 「つながる学校」

### 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・classroom 等のサービスを効果的に活用して会議にかかる時間を少なくしたり、業務の精選を図ったりすることで、授業準備の時間確保に努めている。</li> <li>・専門家による研修会や食物アレルギー、異物混入への対応など、情報を共有して安全な給食の提供に努めている。</li> <li>・ヒヤリハット事例を集約し、事故防止のための情報を共有している。</li> <li>・様々な想定避難訓練やシェイクアウト訓練、VR 体験、Pepper による出前授業等を実施し、災害時に適切な行動がとれるように防災意識の向上に努めている。</li> <li>・「さかたくインクル協議会」の開催により、通学区域小中学校の特別支援教育に係る現状や課題を把握し、近隣の学校との連携を進めることができています。</li> <li>・研修会や学校公開、職員の体験研修等を実施し、小中学校との積極的な連携に基づいてセンター的機能の強化を図っている。</li> <li>・地域行事への積極的参加や HP での情報発信による本校への理解推進を進めている。</li> <li>・若手教員、中堅教諭等の研修及び基本研修の研究授業や授業改善に係る研究協議等の校内研修を全校で計画的に進めている。</li> <li>・各学部で発達段階や学齢時期に応じたケース会議を開き、児童生徒の理解や適切な支援についての知識を深めている。</li> <li>・児童生徒の大けがや命につながるような緊急事態を想定し、各学部学年で研修を行っている。</li> <li>・教員不祥事を起こさないための研修や情報共有、意見交換を行い、当事者意識の醸成に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の有事を想定したより実践的な訓練の実施と機能する体制の確立。</li> <li>・「令和6年度学校安全総合支援事」への学校全体での取り組み。</li> <li>・保護者アンケートの実施等を通じた、地域やPTA との連携強化。</li> <li>・コミュニティ・スクール導入準備や地域の学校等と連携した学校安全総合支援事業の実施。</li> <li>・市町教育委員会等との連携を図り、研修会や相談会等を実施することでの就学前幼児への支援の拡充。</li> <li>・年次研修対象者にとどまらない職員全体への研修意欲を高める取り組みの継続。</li> <li>・けがや発作などが重大事故につながらないような対応研修の継続。</li> </ul>
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善研修に学校全体で取り組み、育成を目指す資質能力を踏まえた授業を実践している。</li> <li>・授業において情報の視覚化等 ICT を効果的に活用し、児童生徒の学習意欲を引き出し、わかりやすい授業を進めている。</li> <li>・地域交流や学校間交流等の活動を直接実施することで他者と関わる機会を設けることができ、社会性や主体性の育成を図っている。</li> <li>・よりよい卒業後の生活に向けた体験型学習やデュアルシステム型の学習を積極的に行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の実施状況の評価、改善の RPDC サイクルに基づいて学校全体での取り組み。</li> <li>・各学年の年間指導計画の精査及び、学部間の系統性の確保。</li> </ul>

#### 4 中期的目標

- 1 児童生徒の自己実現に向けた教育を推進し、自立と社会参加を目指す力を醸成するために、ICT 機器や体験型学習・実習等を活用した児童生徒の個々の課題やニーズに応じた指導・支援を進める。
- 2 児童生徒が安全に安心して活動でき、また保護者が安心して託せる学校であるために、施設・設備や学習環境の点検整備や緊急時や災害時の支援体制や危機管理体制の構築を進める。
- 3 児童生徒の豊かな成長を支えていく「地域と共にある学校づくり」を進めるために、積極的に小中学校や地域との連携を強化し、情報発信を心がける。
- 4 「信頼され続ける学校」であるために、教職員の専門性向上や危機管理への対応に係る研修を進めるとともに、教員コンプライアンスを実現するための取り組みを実践する。

#### 5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
I ニーズに応じた指導の充実	①様々なICT機器を活用したアクティブラーニングの実践 ②ICT環境の充実と、教材データ化による指導の充実 ③発達段階に応じた教育課程による小中高一貫性のある実践 ④体験型学習やデュアルシステム型実習の積極的活用
II 安全安心な学校作りの推進	①児童生徒の心身の健康を図る保健安全、食育指導の実践 ②施設・設備の点検改修による安心安全な環境作り ③感染症のガイドラインに基づく持続可能な学習環境作り ④PTAや地域と連携した大災害時の防災体制の確立
III 地域の連携とセンター的機能推進	①地域・小中高との交流推進や地域行事への積極的参加 ②地域のセンター的機能としての支援の充実 ③外部団体や地域資源を活かしたPTA活動の充実 ④学校教育活動の公開やHPを利用した情報発信
IV 教員の意識向上のための研修の充実	①教員が学び合うための現職教育の充実 ②特別支援教育の専門性を高めるための研修 ③児童生徒同士の健康や安全を守るための研修の実施 ④教員コンプライアンス意識を高めるための研修